



明治大学  
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

# 千葉県西部支部だより

第14号

2018年

夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-485-25 発行人：前田 勝己

## 明治大学全国校友千葉大会

来年(2019年)10月5日(土)・6日(日)に第55回明治大学全国校友千葉大会が開催されます。全国校友大会は、毎年各都道府県の持ち回りで開催されており、今年(2018年)は9月30日(日)に石川県にて開催され、来年の10月には私たちの地元である千葉県において初めて開催されます。

千葉県は、元明治大学総長で明治中学校初代校長の鶴澤總明先生の出身地であり、明治大学総長を務めた麻生平八郎先生の出身地でもあります。千葉県の校友会は、西部支部と東部支部の二つに分かれているため、全国校友千葉大会は両支部の共同で開催されます。今年の2月10日(土)には、ホテルグリーンタワー幕張において東西両支部の合同で、明治大学全国校友千葉大会決起大会を開催しました。

大会は、前夜祭・本大会とも明大OBの渡辺正行氏に総合司会をお願いし、東西両支部が一つになって、おもてなしの心で校友相互の懇親を図ってまいります。

今後、大会の準備や運営について詳細を詰めて参りますが、基本として本大会と前夜祭を両支部が分担する予定です。10月5日(土)の前夜祭は、東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートにて行われることから、我々西部支部が主体となって準備し、6日(日)の本大会については、幕張メッセにて記念式典・記念講演を行い、その後ホテルニューオータニ幕張にて懇親会が行われることから、東部支部が主体となって準備することとなりました。

東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートは、年間約三千万人が訪れる東京ディズニーリゾートのオフィシャルホテルとして、毎日多くの観光客で賑わっております。このような場所で前夜祭を開催するからには、校友の皆さまのご協力が欠かせません。今後、準備作業等で皆さまのご協力をお願いすると思っておりますので、全国校友千葉大会が盛大に催されるよう、西部支部の会員の皆さまのご尽力をお願いします。

(昭62年政経卒 田中賢司)



## 千葉県西部支部ではホームページとブログを運営しています

千葉西部支部のホームページでは、千葉西部支部総会を始めとして、全国校友大会、各地域支部のイベント、明治大学のホームカミングデーやスポーツの話題などを掲載しており、会員の皆さまとのコミュニケーションを深めるために運営しています。ご意見や情報をどしどしお寄せ下さい。

【ホームページとブログの閲覧方法について】  
インターネット・エクスプローラなどのウェブブラウザのアドレスバー(現在閲覧中のウェブページのアドレスが表示されている場所)に、下記のURL(閲覧したいホームページなどの宛先アドレスのことです)を入力してエンターキーを押して下さい。  
URL : <http://chibakoyu.dip.jp/>





# 第53回全国校友沖縄大会開催

平成29年11月18日宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟において、第53回明治大学全国校友沖縄大会が盛大に開催された。今大会は国内51支部と韓国から、総勢927名の校友会会員が参加して行われた。参加者が900人を超えたことは、規模的・地理的・交通アクセス等の点で必ずしも有利と言えない今大会の条件を考えると大成功であったと言える。この陰には、主催者側の一丸となった粘り強い努力があったものと思われ、宮里博史沖縄県支部長を始めとする支部関係者に敬意を表したい。因みに、千葉県からの校友会員の大会参加者数は東西両支部で46名であった。

今大会は、沖縄県が日本に復帰して45周年となる記念すべき年の開催であった。このため、大会開催前日の17日には、太平洋戦争末期の大混乱の戦時下において、嶋田勲沖縄県知事(当時)と共に沖縄県警察部長として沖縄県民の食料確保、疎開、避難活動に精魂を傾け、20万人以上の県民の尊い命を救ったわが校友・荒井退造氏の慰霊祭も行われた。なお、沖縄県における全国校友大会は、今回が2回目の開催であり、第1回は1989年に那覇市で開催されている。18日の大会は、記念式典、記念講演、懇親会に分けて実施された。



記念式典は、大会旗の入場に始まり、国歌斉唱・校歌斉唱・物故校友に対する黙禱へと進み、開会宣言の後、宮里博史沖縄県支部長から「『めんそーれ沖縄』いちゃりば兄弟 明治はひとつ」のテーマの下に全国各地から校友約930名が遠路来県いただき心より感謝します」との歓迎の挨拶があった。その後、大会会長挨拶としての向殿政男明治大学校友会会長による祝辞、柳谷孝明治大学理事長および土屋恵一郎明治大学長の祝辞が続ぎ、その他の来賓祝辞として、沖縄県知事(代理)、佐喜眞淳宜野湾市長、明治大学連合父母会長からの祝辞があった。更

に、次年度の全国校友大会開催県である安井克郎石川県支部長から「多くの全国校友が石川県に来て欲しい」旨のPRを兼ねた挨拶があった。最後は、向殿会長と柳谷理事長の音頭による恒例の万歳三唱が元氣よく行われ記念式典は閉会となった。

基調講演に入り、第一部において、演題「琉球王国とアジア諸国との交流」について、高良倉吉琉球大学名誉教授が、深く地道な研究成果を講演された。続く第二部においては、波照間永子明治大学情報コミュニケーション学部准教授による「琉球・韓国の舞踊における比較研究と共創」と題した解説とその舞踊の実演が披露された。

懇親会は、記念式典の会場から少し離れたラグナガーデンホテルの宴会場「羽衣」に会場を移し開催された。この会場は沖縄色に彩られ、泡盛樽での鏡開き、向殿校友会長による乾杯発声で開始され、余興として空手演武、エイサー演舞等が行われた。会場内では、わが千葉県西部支部と東部支部の仲間が同じゾーンのテーブルに着き、和気藹々の雰囲気の中で懇談の花を咲かせていた。



次年度の全国校友大会開催県の石川県代表が登場し、「来まつし 見まつし 寄るまつし」と書かれた横断幕を用いたPR活動を行い、最後に、大会参加者全員が肩を組み合って明治大学校歌を声高らかに合唱し、名残を惜しみながら散会となった。

今回の大会参加には、2019年10月開催の第55回明治大学全国校友千葉大会についての情報収集活動、リーフレット配布等のPR活動、その他の準備活動等の意味合いもあり、主催者としての目でその運営振りを見るように努めた。しかし、沖縄県の場合とわが千葉県の場合とは、立地条件、環境、規模等においても違いがあり、ルーチン化した大会業務以外に独自の判断が必要になるものと思われた。「明治はひとつ」「千葉もひとつ」の精神を以て、東・西両支部の関係者がお互いに尊重し合い、千葉大会も成功に向けて邁進したいと思う全国大会であった。

(昭38年商卒 支部長 前田勝己)

# 第14回千葉県西部支部総会開催

昨年6月18日(日)に第14回千葉県西部支部総会が、開催されました。会場は、船橋市の老舗「船橋グラウンドホテル」でした。

総会にはご来賓の方を含め125名の出席者があり、開催地域支部の支部長を務める穴澤豊治副支部長の開会の挨拶で始まり、今回は大きな議事はありませんでしたので、議事は滞りなく進行了りました。ご出席の皆さまのご協力には感謝いたします。



議事終了後、大学より中里猛志財務担当常勤理事、校友会より富樫芳勝副会長のご来賓の祝辞をいただき、竹之内明副支部長の閉会の挨拶で総会は終了いたしました。

公開講演会では、一般財団法人WNI気象文化創造センターの事務局長を務めている三枝茂氏に講師をしていただきました。氏は、明治大学大学院を終了後、日本南極地域観測隊に学生隊員として参加し、現在は、「砕氷船SHIRASE」の保存と運用に携わっていらつしやいます。とても興味深い話をしていたいただき、また、公開講演会なので地域の一般の方にも参加していただき、とても有意義な講演会になったと思います。

懇親会では、元アナウンサーで、船橋市の現職の市議会議員である鈴木ひろ子会員(元WWEのデイバでもある)の素晴らしい司会で進行しました。アトラクションとして、船橋の民俗芸能である「ばか面おどり」をばか面おどり交流会の皆さまに披露していただき、大いに賑やかな時間を過ごし、恒例の校歌斉唱で幕を閉じました。千葉県西部支部の総会は、毎年多数の会員が参加し、また、若い会員の参加も徐々に増えているので、準備をする側からすると大変やりがいを感じます。

(昭62年法卒 武士田卓志)



市川地域支部

魅力ある市川地域支部

昔から市川市は西の鎌倉・東の市川と言われるとおり緑豊かな御屋敷町で都心から20キロメートル圏内にあり、東京駅まで20分足らずで行ける利便さを有しております。市域の3割が市街化調整区域で自然と都市が調和した中に教育施設が整備された文教都市として発展してきたものです。このような豊かな環境を背景に創設された市川地域支部は今年で14年目を迎えるものです。西部支部の中では比較的新しい地域支部ですが、数は力なりを基本として新規会員の勧誘や市民まつりに出店し、グッズの販売など積極的な活動を図っております。功を奏して現在では会員数も多くなり、更にやる気ある会員の層が厚いため会員同士の絆は強く、一丸となって事業の実施や会員の親睦などを進めております。

また、地域支部を運営する役員は高齢の方が多くなっておりますが、時流を捉える力を基に、若い役員の方や提案を受け入れる組織となっております。会員の親睦を図る事業として現在はゴルフ・カラオケ・ハイキング同好会の活動がありますが、これ以外にボーリング大会の後の暑気払いなどで気心の合う仲間の輪を広げております。今後は、会員の趣味を生かした中から好んで参加される親睦事業を提案出来れば更に活動範囲が広がるものと思っております。

地域の変貌を見ますと市川市は外環道路の建設で様変わりしている地域が

生じておりますが、古くは国宝の立正安国論がある中山法華経寺や市川の伝承民話にも出てくる八幡の藪不知・真間の手児奈・市川の関所など多くの文化財を有しております。最大のイベントは毎年8月の第一土曜日に開催される市川市民納涼花火大会で今年は34回目となりますが、江戸川の河川敷から14、000発の花火が打ち上げられ、その光景は圧巻なため昨年の観覧者数は50万人となっております。市川の史跡やイベントは枚挙にいとまがないほどありますので、ハイキングを兼ねた史跡巡りなど、各地域支部における交流や他支部との連携を踏まえた新たな事業も提案できればと考えております。(昭48年法卒 板橋昇二郎)

浦安地域支部

浦安地域支部の活動について

平成30年度の活動としては、例年実施している事業を踏襲して実施していきます。会員相互の親睦を図る活動が中心となりますが、新しい事業にもできるだけ取り組んでいきたいと思っております。また、全国校友千葉大会に関する活動も大きなウエイトを占めてくるものと思っております。

今回は、浦安地域支部が実施する活動を紹介したいと思います。

まず、4月の初めにお花見の会を行います。市内の公園(警察署の隣です)で明大の校旗の下、和気あいあいと日本の春を楽しんでおります。会員以外の方で明治のOB・OGの方もこの旗を見つけて声をかけてくる方もいらっしゃいます。このような方もウエルカムです。明治はひとつ。本居宣長



の歌「敷島の心和心を人間はば朝日にほふ山桜花」にもあるように、校友同士の交流は、桜の美しさにも劣らない、美しい心と心の交流となっております。またそうありたいものです。

5月には、地域支部の活動についての重要な事項を決める総会とこれに引き続き懇親会を行います。地域支部の事業の中で最も多くの参加者があり、重要な交流の場となっております。

7月から9月にかけては、暑気払いを行います。大いに食べ、大いに飲んで語らい、うつつうしい夏を乗り切ろうということで行っております。

10月、市民まつりに参加し、大学のPRと会員の掘り起こしに努めておりますが、効果に疑問もあり、実施するか否か検討中です。

そして、年が改まった1月。言わずと知れた新年会です。新年を迎え、気持ちを新たに1年のスタートです。

このほか、過去には市内の開発状況の理解や元町地区の散策を兼ねたウォーキングを実施したことがあります。今年度は市外の散策を兼ねたウォーキングを実施してみたいです。和泉校舎周辺や生田・中野キャンパスを訪ねてみるのも楽しいウォーキングになるのではないかと思います。

(昭49年法卒 山中勇)

柏地域支部

明治大学に「学んで・卒業」して、いかった! いかった! いかったなあ!

池田勇人首相に憧れ、京都大学法学部入試に2度挑戦し、夢破れた一人の青年に希望と夢を与えてくれたのが、明治大学法学部であった。昭和38年に法学部に入學して、司法試験合格を目指したがそれもかなわなかった。しかし、法学研究室で指導していただいた先輩・先生のおかげで、想定外の司法書士試験に合格し、昭和48年4月に柏で開業して45年が経つ。

また、昭和50年8月の柏市議会選挙にて当選。以来五期務めさせていただいた。役所の中を歩いて驚いた! 職員の中に明治大学の先輩後輩がごろごろいるではないか! 部長、課長、係長、みんな揃っていた。べつに、何か特別なことをしてもらうなどと全く思わなかったが、母校の先輩が存在するだけで、心強かったことを今でも覚えている。

議員を辞めた後、「司法書士の仕事は続けるとしても、人生百年、何か趣味を持ちたい。60歳くらいまでに、趣味の世界でもそこそこになつていたほうがよい。趣味のない人生は老後がつまらないだろう」と考えていたところ、懇意にしている税理士さんから、「講談」のことを訊き、プロが主催している「塾」があると教えてもらい、さっそく「塾」の見学にいった。そこで、出会ったのが「六代目宝井馬琴師匠」だった。馬琴師匠はなんと明治大学文学部英文科卒だった。塾生の先輩にも明大の先輩がいて、さらに驚



いた。  
以来、六代目馬琴の声の良さ、調子の良さにほれ込んで、年2回の公演会で、馬琴師匠のネタを次々と披露してきた。テープで1000回聞いたと馬琴師匠に話したところ、馬琴師匠に「プロでもやらないことをやっているな」とプロの前で褒められたことを思い出す。

また、講演を勉強し始めてから、公演の前に演題の主役の墓参りや、ゆかりの地を訪ねる旅行に行ったりする「楽しみ」が一つ増えた。今年の6月10日の第67回公演は、「後藤新平一代記」を披露することになっている。東京駅の構想で有名だが、そのモデルになったアムステルダム中央駅を、



今年の正月、見て、触って、歩いてきた。アムステルダム中央駅の端から端まで、私の歩幅（約80センチ）で515歩あった。ちなみに、現在の東京駅を端から端まで歩いたところ、470歩だった。（昭42年法卒 佐々木利夫）

**船橋地域支部**

**地域支部長のひとりごと**

船橋地域支部が発足してから今年で14年目を迎えて、諸先輩のご協力とご支援のお蔭で現在校友会会員は160名が在籍しております。支部の活動として、ホースセラピー

（天沼弁天池公園）から始まり、定時総会の開催（船橋グランドホテル）、ゴルフコンペ（年2回千葉新日本ゴルフ倶楽部）、麻雀大会（年2回雀荘周伯）、船橋市民まつり参加（ブースにて大学案内&グッズ販売）、工場見学（石井食品）、夏季懇親会（割烹玉川旅館）、ナイター観戦（船橋競馬場）、冬季懇親会（東魁楼）、懇親旅行（バス1泊旅行）、歩こう会（和泉校舎&中野校舎）、千葉県議会見学会等があります。

これらを開催するにあたり、毎月1回（金曜日）役員会を実施し、具体的な打合せ（参加者募集チラシ作成・主な行程・費用・集合場所・事前準備等）および役割分担をし、行事開催後は改善点について話し合い、意見交換して活動しています。

地域支部活動のなかで大事なものは、校友会同士の親睦交流が目的であります。役員会において、いかに皆さんが楽しんでもらえるか、参加しやすい環境づくりと安心安全を心がけて企画し、会員家族含めてお声掛けしております。

今までに実施したのは、市議会議員（明大出身4名）の案内で船橋市議会議場を見学し、議長席・市長席・議員席・それと普段見られないバックヤードツアー（職員待機場所）まで見ることができたことや、歩こう会で船橋歴史散歩（東照宮・船橋の地名の由来・船橋大神宮・太宰治・宿場町・漁師町）や市内中心部を流れている海老川での桜を見る会、その他、南極観測船SHIRASE船内見学（ブリッジ・食堂・医務室）とサッポロビール工場

見学（製造設備工程）であります。いちばんの思い出に残るのは、明治大学駿河台キャンパスを訪問したときのことです。御茶ノ水の由来の石碑、水道橋（神田上水懸桶跡）に男坂と女坂があることを、これまで全く知りませんでした。

学生時代通っていたキャンパスと違い近代的な学び舎（リバティタワー、アカデミーコモン、明治大学博物館）になっており、女子学生の多さにびっくりし、時代の流れを感じさせられました。

地域支部において懇親旅行（1泊バス旅行）をこれまで6回実施しており、目で見ても触れ合い・語り合い・楽しむ旅をコンセプトとして行っております。

最後に第2回マンダリン倶楽部チャリティ演奏会を実施したことにより、校友会の総合力を知るとともに、地域貢献も出来たと思っております。ご協力・ご支援に感謝いたします。



（昭43年政経卒 穴澤豊治）

**松戸地域支部**

**◎20周年を迎えた松戸地域支部**

明治大学校友会松戸地域支部は平成10年に誕生し、今年20周年を迎えることができました。松戸地域支部の設立目的であります「明治大学への賛助、校友相互の親睦、並びに地域への貢献」に向けて、清水潔支部長を先頭に精一杯の努力を重ねてまいりました。

た。入会されている地域支部会員の方は勿論、入会されていない松戸地域在住の校友に対しても、更に喜んで頂ける事業活動を活発化し、それらの目的を実現するために今後とも努力する所存でありますので、何卒更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

**◎第6回チャリティコンサート開催**

本年は、松戸地域支部活動の最大のイベントであります明治大学マンドリン倶楽部による第6回チャリティコンサートを7月7日（土）に松戸市の森のホール21大ホール（2,000名収容）にて、ゲスト歌手に由紀さおりさんをお招きして開催します。このコンサートの収益金を明治大学に寄付するとともに、松戸市内の特別養護老人ホーム（22施設）に、車イスを各1台ずつ寄贈させていただきます。

**◎松戸地域支部ニュースの発行およびホームページの運営**

明治大学校友会松戸地域支部では、年2回の松戸地域支部ニュース（A3サイズ表裏・カラー）の発行およびホームページ（※）の運営をしております。松戸地域支部では、総会、新年会、忘年会および納涼会などの開催や、全国校友大会、千葉県西部支部の活動にも積極的に参加しておりますが、このようなイベントなどのご案内やご報告を、松戸地域支部ニュースやホームページを活用して広報しております。

**◎レクリエーション活動の紹介**

明治大学校友会松戸地域支部では「ゴルフクラブ」および「カラオケクラブ」を立ち上げ、レクリエーション



活動を通しての校友相互の親睦を図っています。

### ◎結びに

平成21年に就任された向殿政男校友会長の提唱する「明治はひとつ」の精神のもと、母校発展・充実に寄与し、後に続く学生が各人の夢を実現して社会に貢献できるように、また、会の発展のために明治大学校友会松戸地域支部は活動を続けてまいりますし、私も微力ではありますが、松戸地域支部に貢献できるように頑張りたいと思います。

(※) 明治大学校友会松戸地域支部のホームページは、  
<http://www.meidaimatsudo.com/>  
をご覧ください。

(平19年法卒、平29年大学院卒)

関根ジロー

## 流山地域支部

### 流山地域支部の活動について

流山地域支部の活動は、地域支部総会、忘年会、新年会を中心とした行事でスタートしました。しかし、これだけでは飽きて長続きしない、何か行事の種類を増やさなければいけないという事から、地域支部全体合意のもと、2年目からいろいろな活動を増やしていききました。

まず、12月に行われるラグビー大学対抗戦の明早戦を応援観戦することにしました。昨年の明治大学は連敗中だった早稲田大学に勝利し、参加した会員は気を良くして柏に戻り、恒例の忘年会で祝杯をあげました。

また、地元を良く知る事を念頭に、流山探訪ウォーキング・バスハイクの

一環として、選奨土木遺産である「利根運河」散策や発掘調査中の遺跡見学会などを実施しました。

そして、地域支部が足場とする流山市民への貢献にも目を向けることにし、公開講演会を行うことにしました。2007年度には弁護士である広井現地域支部長が、当時話題になっていた「裁判員制度について」と題した講演をし、翌2008年度には名誉教授である小疇前地域支部長が「地球温暖化と氷河永久凍土、そして流山は」と題した講演を行い、地域の人人々に校友会の活動を知っていただきました。

昨年は、流山地域支部発足10周年を迎え、記念事業として「流山地域支部10周年のあゆみ」を発行しました。10年を振り返ってみると、行事活動は途切れる事なくすべて順調に実施されていることがわかりました。

しかし、行事は増やせば良いというものではありません。地域支部運営の問題点として、会員の高齢化があります。毎年平均年齢が1歳ずつ上がり、高齢化して組織が麻痺しないよう、新たな会員の増加を真剣に考える時期になっていと思っています。

(昭37年商卒 内山正徳)

## 我孫子地域支部

### 世界同根・万物一体

新田次郎『八甲田山死の彷徨』は、明治35年第五連隊第二大隊が雪中行軍で遭難した実録で、生き残り兵士の末裔がこの私です。

中・高校ともに青森商業出。ところが詩歌が好きで文学部に入学。ラグビー部に入りたいのですが、ゴミ同様なので相手にしてくれません。それでも四か月休まず通ったら、北島監督も根負けして合宿所に入れてくれました。なぜ成るのかな？3年のとき箱根駅伝出場？往路平塚〜戸塚間23キロ、ひとり追い抜きました。4年の春、全額私が負担して明大ラグビー部の主将・副主将を青森商に呼びました。そのせいか同校ラグビー部の高体連十年連続優勝・富山国体優勝に貢献？ゼミは国宝クラスの唐木順三先生で、卒論書いている間に就職を忘れ、32年卒業とともに自衛隊に入りました。自衛隊はラグビーが盛んで、もち大活躍。ルーティンというか自然に日本敗戦の原因探索する機会となりました。網走（刑務所じゃないヨ）部隊に赴任、小・中隊長など歴任。ピストル射撃では全弾黒点命中（年にひとり出るか出ないかの確率で、オリンピック候補なみの偉業でした？）。が、戦車隊に転属される気配に、（嫌になって）それまでの好青年を辞め、昭和39年東洋大学経済学部3学年編入学（これは青森商業ラグビー部監督藤木三千人先生が、東洋大学教授になった関係です）。東洋大卒業後青森山田高校に一年勤め、その後青森県高校教員になりました。担当は

ラグビーじゃなく商業科。「簿記会計一級」持ってるンですヨ。昭和50年のことです。

その後、十和田にある三本木農業高校へ転勤。農業高校の敷地は皇居なみ周囲四キロ。遠くに八甲田山が聳え、田んぼや畑を覗いて歩いているうちに、これまで歩んできた人生が、まるで地震で瓦解するように崩れはじめたのです。カッコウよく表現すれば「無常の道」に目覚めたのです。この無常の道は、ちつとも悲しい響きなどなく、むしろ嬉しい悲鳴が聞こえてくるものなものでした。というのは、これまで無関係だった客体の自然や時間が、自分の血肉と同じように迫ってくるからです。これをドラマにして発表したら、『十和田・奥入瀬冬景色―雪女（雪の女神）』……田舎なんですかね、当選して『青森県詩人賞』いただきました。

この日曜、我孫子市議会議員澤田敦士君（柔道部百一代目主将）と橋本武雄君（長岡出・政経36年卒）と三人でランチとしゃべりました。武雄ブユウが『五輪書』を持ってきて読めという。『水の巻に―兵法の道においては、心の持ち方は平常の際と変わってはならない―とある』「平常心は道」は唐木先生から書いて頂きましたが、仏教の四威儀Ⅱ行住坐臥のことです。道元が『随問記』で同様なことを言っています。西田幾多郎の『善の研究』とも一致してくるが、こういう点で日本は世界一流で、OB会ともども讃仰したいところです。

(昭32年文卒 若山雄一)



# 第54回 全国校友石川大会のお知らせ

今年の全国校友大会は、北陸新幹線も開通し、身近になった北陸の古都石川県（金沢市）です。

金沢城や兼六園、加賀友禅や九谷焼、輪島塗など、観て、触れて、体験できる楽しみがいっぱいの大会を石川県支部の会員総出で、全国からの校友を迎える準備をされているそうです。

昨年にも全国大会には、千葉県西部支部から50名近く参加しました。今年も大勢の方に参加していただきたく、お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時：9月30日（日）

場所：石川県立音楽堂（記念式典・講演会）

ホテル日航金沢（懇親会）

スローガン

「みまっし きまっし よるまっし」



みまっし きまっし よるまっし

第54回 明治大学全国校友

## 石川大会

(平成30年) 2018年9月30日(日)

石川県立音楽堂  
ホテル日航金沢

明治大学校友会石川県支部事務局

## 第十五回 千葉県西部支部

### 総会・懇親会のお知らせ

◇日時 平成30年6月17日（日）午後2時〜

◇会場 ハート柏迎賓館

（JR常磐線・東武野田線「柏駅」下車タクシー10分、駅東口ロータリーより送迎バス運行）

◇会費 六千円（懇親会）

## 第二十一回「ホームカミングデー」のお知らせ

開催日 平成30年10月28日（日）

会場 明治大学駿河台キャンパス全域

（リバティタワー、アカデミーコモン、グローバルフロント）

## 明治対早稲田ラグビー観戦

12月3日穏やかなすみきつた青空で、無風状態の秩父宮ラグビー場へ船橋地域支部15名は、応援紫紺小旗を持ち指定席に座りました。

明治大学のキックオフで試合が開始され、前半5分過ぎ試合は動き、梶村祐介のインターセプトという形でまずは先制トライを決めました。流れをつかみ、ボールの支配率は明治が優り、前半は14対7と明治が優勢でハーフタイムに入りました。

後半は、サイドが左から右に変わり15分過ぎ、ウイングの山村智也が左隅にトライ決めました。明治は、ゲーム展開の流れを読み、スピードある選手交代をし、早稲田陣内に攻め込み、スクラムハーフ福田健太が中央にトライを決めました。

両校ともに後半になると攻め込む場面で歓声と双方の小旗を振り、力強い応援を選手へ送っており、終了間際にノットリリス・ザ・ボールのペナルティを得てペナルティゴール3点を決め、試合結果は29対19で明治が勝利しました。今年の試合内容は、スクラムとディフェンスが良く、勝利に結びついたと思います。今回の勝利で対抗戦グループ2位が確定し、正月の全国大学選手権出場を決めた大事な試合でした。

試合終了後、地域支部の参加者はテレビ

局の取材を受けました。

Q①明治対早稲田のラグビー戦をどう思うか。

A 伝統の明早戦は、大学対抗戦成績にかかわらず燃えます。



Q②明大生に代々受け継がれてきた「前へ」をどう思うか。

A「前へ」は「何事も前へ進めないことには動きません。諦めずに継続して行け」と解釈して、北島哲学を大切にしております。

（昭43年政経卒 六澤豊治）

## マンドリン倶楽部演奏会が開かれます

今年は明治大学マンドリン倶楽部のチャリティ演奏会が、7月に開催されます。

◇松戸地域支部主催

日時：7月7日（土）午後3時開演

（開場：午後2時）

会場：森のホール21

ゲスト：由紀さおり

入場料：三千五百円

## 各地域支部の総会・懇親会

- ☆我孫子 5月6日 鈴木屋
- ☆市川 5月13日 山崎製パン企業年金基金会
- ☆流山 5月19日 割烹せきや
- ☆柏 5月20日 ハート柏迎賓館
- ☆浦安 5月26日 浦安ブライトンホテル東京ベイ
- ☆船橋 5月27日 船橋グランドホテル
- ☆松戸 11月18日 聖徳大学10号館

### 編集後記

西部支部だよりは、3月上旬に各地域支部の編集委員が集まって編集方針を決め、3月中旬に原稿を集め、4月中旬に数回の校正を繰り返した後、4月下旬に1600部印刷され、各地域支部の総会などを通じて皆さまのお手元に届きます。活用していただければ幸いです。

（山田 記）

### 編集委員

- 山田 秋彦（編集長・柏）
- 服部 真樹（浦安）
- 宇津野史行（松戸）
- 猪瀬 安次（我孫子）
- 山崎とよ子（船橋）
- 明村 澄雄（市川）
- 川根 正教（流山）
- 武士田卓志（幹事長）

